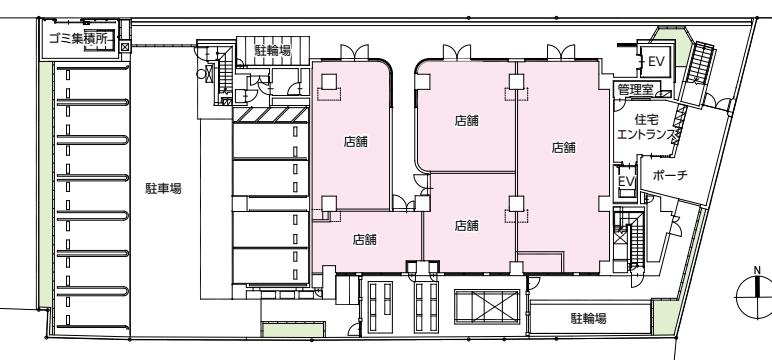




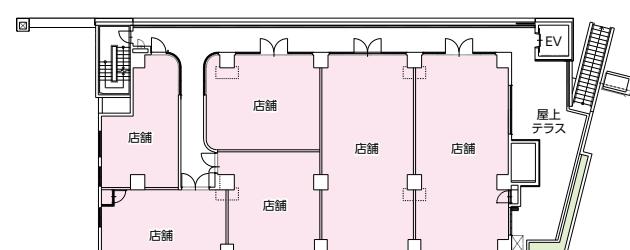
左上／2階 屋上テラスより所沢駅方向を見る 右上／2階店舗廊下 左下／北東側アプローチ 左側が住宅エントランスへのアプローチ 右下／1階住宅エントランス

所沢駅ふれあい通り

歩道



配置・1階平面図 縮尺1/500



2階平面図



住戸共用廊下



1LDKタイプ住戸内廊下



2LDKタイプ住戸

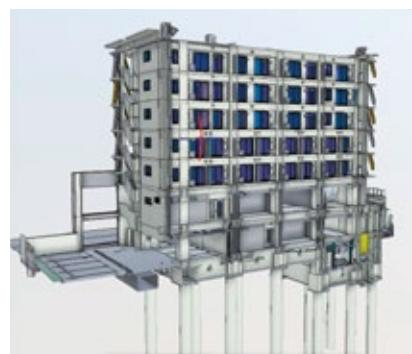
一 樹立的取り組み

本計画では、設計から施工に至る工程管理の高度化を目的としてBIMを導入した。3Dモデルを用いた施工図作成や4Dシミュレーションにより、施工手順や工程を可視化し、現場管理者の負担軽減を図った。特に各階の設備・構造取り合いなどを事前に共有することで、情報伝達の効率化と施工精度の向上につなげている。BIMは生産プロセスの合理化ツールとして活用され、建築の完成度を確実に支える基盤となった。

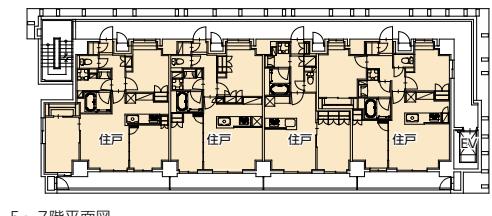
一 結び

竣工後、この建物は所沢の街に新たな視点場をつくり出しつつある。視線の集中は防犯性の向上にも寄与し、街に安心感を与える存在となった。施主の願った「ランドマーク」という言葉は、単なる象徴的外観ではなく、地域の“生活リズム”に寄り添う建築として具現化された。A-mode TOKOROZAWAは、都市と暮らし、商いと人の営みを結び直す、新たなリズムの発信点である。

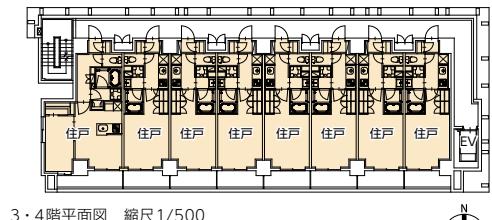
(小堀研二／平岩建設)



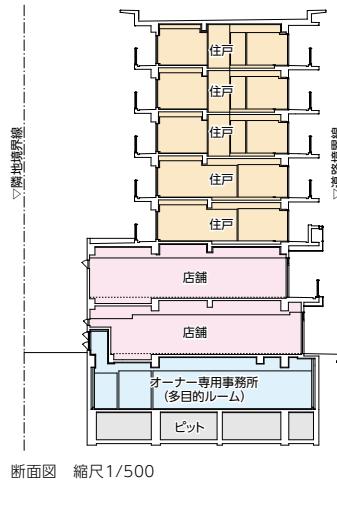
統合モデルによる干渉チェック



5～7階平面図



3・4階平面図 縮尺1/500



断面図 縮尺1/500

給湯／局所ガス瞬間湯沸器 排水／建屋内外污水合流方式、雨水分流方式

防災設備 消火／連結送水管設備、消火器、非常照明、誘導灯設備、自動火災報知設備 排煙／自然排煙

昇降機 乗用11人乗(45m/min)×1基、乗用9人乗(60m/min)×1基

特殊設備 テナント用共用ダクト設備、避雷針設備

【主な外部仕上げ】

屋根 ウレタン脱気絶縁複合防水露出行

外壁 吹付タイル、磁器質タイル貼

建具 アルミサッシ

外構 磁器質タイル貼

【主な内部仕上げ】

エントランスホール 床／石調タイル貼 壁／大判タイル貼 天井／ビニールクロス

住戸 床／遮音複合フローリング 壁・天井／ビニールクロス

撮影／ヒロセ・スタジオ 広瀬欣也

A-mode TOKOROZAWA データ

所在地 埼玉県所沢市東住吉9-1

主要用途 店舗・事務所付共同住宅

建築主 有限会社新栄

設計・監理 平岩建設一級建築士事務所

プロジェクトマネージャー：玉越友巳

建築：小堀研二、町田晃、カイン・ス・トーリー

BIM：グエン・マイ・フン

デザイン：ヴィンチ 担当：小森谷賢二

施工 平岩建設

担当：岡村直彦、田中利明、竹田広太

設計期間 2022年7月～2024年4月

工事期間 2024年5月～2025年9月

【建築概要】

敷地面積 952.27m²

建築面積 511.67m²

延床面積 2,220.15m²

建ぺい率 53.74% (許容 60%)

容積率 199.19% (許容 200%)

構造規格 RC造 地下1階、地上7階

最高高さ 22.790m

軒高 22.050m

階高 3.60m(地下1階)、3.76m(1・2階)、2.91m(3～7階)

天井高さ 2.50m(地下1階)、2.60m(1・2階)、2.40m(3～7階)

主なスパン 6.2m×8.6m

道路幅員 35.5m

駐車台数 11台

地域地区 市街化区域、所沢駅西口土地区画整理事業

【設備概要】

電気設備 受電方式／店舗部：高圧受電方式 住宅部：低圧受電方式 變圧器容量／店舗部：3φ 200k+1φ 100kVA

住宅部：集合住宅用変圧器3φ 50k+1φ 125kVA

空調設備 空調方式／店舗部：パッケージエアコン(冷媒配管のみ) 住宅部：ルームエアコン 熱源／電気

衛生設備 給水／水道直結給水方式、直結増圧給水方式

協力会社
(当社記入欄)